

No. 5 4

春号

電機連合 西四国地協ニュース

発行所
全日本電機・電子・情報関連産業
労働組合連合会
西四国地方協議会
発行人 大谷 宣彰
編集人 上甲 章史
〒790-0066 愛媛県松山市宮田町132
愛媛県勤労会館内



頑張っています！石上としお参議院議員

昨年の参議院議員選挙を経て、石上としお参議院議員が誕生しすでに10カ月が経過しました。

今回は、私たち電機産業で働く仲間の声を届け、電機連合の政策制度実現にむけて、大島衆議院議員、加藤参議院議員と共に日々頑張っている、石上参議院議員の活動の一部を紹介します。

所属している委員会

総務委員会、予算委員会、国民生活のためのデフレ脱却及び
財政再建に関する調査会(デフレ脱却・財政再建調査会)、憲法審査会

4月8日に開催された
参議院総務委員会での
質問内容(抜粋)

- 1 ネットワークを巡る環境変化、多様化・複雑化する電気通信事故について
- 2 情報セキュリティ対策について
- 3 事故報告制度のあり方について
- 4 管理規程の実効性確保
- 5 経営レベルの電気通信設備統轄管理者の導入
- 6 電気通信主任技術者による監督の実効性確保
- 7 回線設置事業者以外の電気通信事業者への対応

これまでの活動内容や国会/所属委員会の質問については、下記サイトから確認できます。

石上としお公式サイト

<http://ishigamitosho.com/>

参議院インターネット審議中継
【会議名や発言者からの検索】で検索できます。

<http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

経営分析セミナーを開催

《内容》 セミナー講師：高千穂大学商学部 教授 石井 康彦 氏

- ① 取引と会計数値 ② ビジネスゲーム：家電量販店の経営
③ ビジネスゲームのおさらい ④ 勤務先を分析するにあたって

2月7日、8日の2日間にわたり、電機連合中国・四国ブロックの経営分析セミナーを開催しました。本セミナーで、ビジネスゲームを通じた経営の仕組みの理解・知識向上により、自社経営の分析や労働組合の経営対策活動強化を目的に開催しました。

ビジネスゲームでは、班単位で会社を興し、社長（方針決定）や経理部長（財務）などの各担当を決めながら、仕入れ数量から販売価格を会社ごとに協議しながら進められました。販売結果は、市場のニーズなど予め設定されたルールによって決まります。会社の決算ごとに営業成績が発表され、貸借対照表を作成するなど、会社経営の仕組みについても理解を深めることが出来ました。

（西四国地協からは8名の受講生が参加）



市場分析による販売戦略会議



各社の決算発表



西四国地協参加者

2014春闘中堅中小労組連絡会を開催



総合労働条件改善闘争の電機連合大手組合回答をうけて、3月21日（土）に電機連合四国ブロック内の中堅中小組織を対象とする春闘連絡会を開催しました。連絡会の中では、電機連合本部より萩原中央執行委員にお越しいただき、春闘における電機連合方針やこれまでの交渉経過、今後交渉が本格化する中堅中小労組の闘争方針や現時点での状況について説明をいただきました。その後、各組織から賃金・協約の要求内容や交渉状況について報告を行いながら、相互に意見交換を行いました。

（西四国地協からは6組織9名が参加）

越智けいろう西条市議会議員の活動報告会を開催

4月18日（金）の第3回常任幹事会後に、越智けいろう議員の活動報告会を開催しました。

西条市の事業状況や財政状況、また地域で取り組みについて報告をいただき相互に意見交換を行いました。

《H26年度 西条市の主な事業》

- (新)市単独小中学生歯科医療費助成事業
- 医師確保奨学金貸付事業
- (新)地域公共交通総合連携計画策定事業
- (新)地域防災力向上支援事業
- (新)西条っ子学びの向上推進事業

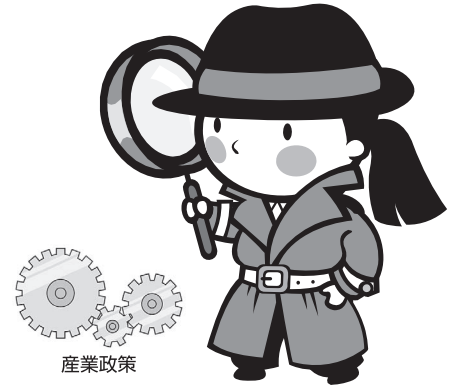


電機連合の活動の中に「産業政策」の取り組みがあることを知っていますか？
産業政策とは、電機産業や日本をより豊かに発展させるための取り組みです。

私たちが働く電機産業に活気があり、企業の業績がよくなければ、雇用の維持・拡大や賃金などの労働条件の改善は厳しくなります。そこで、働く者の立場から電機産業が直面しているさまざまな課題を見つけ出し、その解決方法（法改正や制度策定など）を考えて「産業政策（政策制度課題と私たちの見解）」として取りまとめ、毎年、政党や省庁などと意見交換を行って、政策実現を目指しています。

『電機連合@見える化通信』では、何となく小難しく見えづらい、でも私たちの暮らしをより良くするために大切な産業政策の見える化に向けて、その中身を少しずつご紹介していきます。

電機連合 産業政策部編



電機連合@見える化通信

技術立国ニッポン！技術者が輝き続けるために

電機連合が推計したところ、少子化の影響で2018年をピークに工学系（工学・理工学）大学への進学者数が減少期に入ります。資源のない日本はものづくりで経済大国を築いてきました。これを支えてきたのは勤勉で優秀な技術者であり、国民生活の利便性向上や国際社会へ貢献してきました。ものづくりを支える次世代の優秀な技術者が減少することは、電機産業そして技術立国を目指す日本にとって大きな損失です。これからの日本経済復活のためには、ものづくり産業を好循環させて、技術者が輝き続けられることが大切です。そのためには、次世代の優秀な「技術者の卵」の育成を図り、工学系への進学者を増やしていかなければなりません。

小中高で切れ目なく理化学への興味を持続させる

工学系への進学者を増やすには、子どもが理化学に興味を持ちやすい環境を整え、才能を伸ばせる取り組みが必要です。いまの子どもたちは、すでに必要な電機製品が揃っている生活環境が当たり前で、便利・不便を実感しにくいことから、製品に使われている技術や技能に対する興味を持ってもらうきっかけを与えることも必要です。例えば「電子レンジで食べものはどうして温められるの？」という子どもの好奇心に対して「電磁波を出すことによって食べものの中の水分を温めているからだよ」という答えがすぐに返ってくることで科学的なものの見方が育まれていくことが大切です。

中学校に上がると、理科に理論や法則が登場することで授業内容が急に難しくなり、生徒の「理科離れ」が進んでいることが問題となっています。この時期から進路の問題が始まることもあり、理科への興味を持続させる取り組みが重要です。企業から小中学校に現場の技術者を派遣し、生徒に理論や法則を教える「ものづくり教室」も開催されています。こうした取り組みを進め、さらに地域、労組、行政等が連携して「技術者の卵」を育成するシステムを作り上げることが必要です。元文部科学大臣の平野博文電機連合顧問は、産学官一体で科学技術系人材育成として取り組む「科学の甲子園（全国の高校生で学校対抗・チーム制で理科・数学等の筆記・実技を競う）」の中学生版「科学

の甲子園ジュニア」を必ず立ち上げるとし、この構想は政権交代がありながらも2013年に実現しました。

高校では理系大学進学に繋げるために、文科省が2002年から先進的な理数教育を取り入れる「スーパーサイエンススクール制度」を実施して成果を上げており、指定校も増加しています。

工学系大学への女子進学率を上げ、女性技術者を増やす

最近「リケジョ」という言葉が流行ったり、理系が就職難に強いことも後押しし、理系大学への女子進学者が増加しています。しかし専攻は看護学・薬学・医学が圧倒的です。工学系については微増しているものの、女子大学進学者全体の4%台という低水準が続いています。

日本の女性研究者の割合は14%と、英国38%、米国34%と比べると低く、政府は平成27年度までに女性研究者を30%（内、工学系は15%）に増やすとしています。女性研究者が少ない理由には、家庭と仕事の両立や育児期間後の復帰の難しさ、ロールモデルの少なさ等が挙げられています。技術者の育休1年のブランクは大きく、専門性と育児の両立が課題であり、長時間保育、病児保育等を充実させ、安心して技術者を目指せる環境整備が必要です。ロールモデルについては、例えば冷蔵庫では女性技術者の視点を活かした付加価値の高い製品を開発しヒット商品を生み出しており、こうした女性技術者の成果を学生に「見える化」していくことも大切です。

多様な視点や感性を活かした技術・研究開発の重要性は高まっており、政府・企業・大学は優秀な女子を工学系に志望させるための情報発信に取り組んでいます。政府の目標を達成するためにも、業界団体（工業会等）、民間教育機関（塾等）などと連携した工学系大学への女子進学者を増やす取り組みを進めます。

●● 電機連合の産業政策 ●● ※本文の下線箇所参

* 学校・地域・労使・行政などが連携し「技術者の卵」を育成するシステムを作り上げる

* 工学系大学への女子進学率を上げ、女性技術者を増やす

西四国地協のホームページをリニューアルしました!



電機連合 西四国地方協議会
Japanese Electrical Electronic & Information Union

概要・活動方針 加盟組合 議員紹介 活動紹介 お問い合わせ リンク



概要

1.電機連合西四国地方協議会とは
 電機連合は、電機・電子・情報関連産業およびその関連産業の労働組合を結果した組織であり、1953年以来、半世紀の歴史をもつ、民間大手の産業別労働組合組織です。
 全国37ヶ所に設置された地方協議会の一つである西四国地方協議会は、当時四国地方協議会の東西分割独立(東四国地協/香川・徳島)・(西四国地協/愛媛・高知)として、1999年9月「電機連合」の仲間として結成しました。
 現在の地協構成組織は14組織 2,949名、**「SAITUR」**会・高知地域協議会)を設置し活動しています。

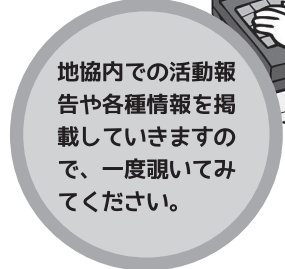
活動方針

2.活動方針
 電機連合は結成60周年を迎え、産別運動の結核を行うとともに組織力強化に取り組むことが重要である。この方針を地協に反映し、組織力強化を図ることが求められているという情勢認識のもと、4つの重点取り組みを定めて活動を推進します。

◆電機連合西四国地協の2013年度重点取り組み>
 <加盟組織を定期巡回し、経営・労働対策面や組織課題などの情報交換と支援を行います。>

<http://www.jeiu.jp/nishishikoku/>

『電機連合西四国地協』で検索してみてください。



SAKURA プロジェクト

へのご協力ありがとうございました

4月に西四国地協加盟組合で取り組んでいただきましたSAKURAプロジェクトでは、23個のランドセルが集まりました。ご協力をいただいた組合員の皆さん、ありがとうございました。

電機連合 JoiceFP
途上国の貧困層と女性を守る

キャンペーン期間
2014年4月1日～5月15日

アフガニスタンの子どもたちにランドセルを贈ろう!

電機連合は、国際協力NGOジョイセブと協力して、日本からランドセルを贈ります。

アフガニスタンでは、学校に行けない女の子がたくさんいます。
 日本から贈られたランドセルは、子どもたちが学校へ行くきっかけになります。
 女の子が男の子と同じように学校に行けるようになり読み書きができるようになる健康を守る知識を得られるようになります。
 将来、妊娠や出産するときにきても読み書きが出来れば保健や衛生に関する知識や情報を身につけられ赤ちゃんを安全に産み育て、自分と家族の命と健康を守ることにつながるのです

ファミリー サポート共済

電機連合

〈遺族生活保障〉 (全労済 団体定期生命共済 共済金年金払特約)

2014年6月 **新登場**

組合員の期待に応えて

5つの特長

- 1 組合員または配偶者が死亡・重度障がいとなった場合にご家族へ共済金を年金方式(分割)でお支払いします
- 2 電機連合組合員57万人のスケールメリットを活かした制度です
- 3 万が一の場合に、ご家族への「精神的サポートサービス」もご用意しています
- 4 満65歳まで継続できます
- 5 毎月の掛金は便利な口座振替です

たとえば 月々の掛金**910円**で、約**668万円**
 (月額約10万円/受取期間5年)を受け取れます

〈組合員C05コースの場合〉
 受取総額取崩額は、2013年6月1日現在の基礎率(予定利率等)で計算したものです
 将来の基礎率(予定利率等)の変動により変動(増減)することがあります

積立型の貯蓄制度ではありません
 脱退時の解約返戻金はありません

●お問い合わせは... 電機連合 福祉共済センター ☎0120-11-7272 (フリーダイヤル) ☎03-3452-2825 (ファミリーサポート専用)